

観光拠点整備計画（文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業）

A 都道府県名

① 補助事業者名					② 事業区分	国宝・重文 （美術工芸 品）	美観向上整備事業	
						その他 （ ）	鑑賞環境基本整備事業	
						情報発信事業		
③ 文化財名称					④ 指定等 年月日	明・大・昭・平・令 年 月 日		
⑤ 所在地	都道府県		市区町村		⑥ 保存活 用計画	策定済（ 年 月 ）／未策定		
⑦ 観光振興事業 指定市区町村 等の現況	観光振興 事業指定 市区町村	日 本 遺 産	世 界 文 化 遺 産	ユネスコ 無形文化 遺 産	その他			
⑧ 近隣施設との 連携（ルート設 定等）								
⑨ 外国人観光客 入れ込み数	指標							
	目標値	年度 （原則、事業終了の翌年度）	人		現状値	年度	人	
	目標値の 設定根拠							
	目標値の 測定方法							
	市区町村 （令和 年度）	宿泊者数	入れ込み数	施設の 入れ込み 数	平成	令和	施設の入 れ込み数 の伸び率 （自動計算）	
⑩ 受け入れ環境 整備状況	整備済み	WiFi	多言語	キャッシュレス	洋式トイレ	その他（ ）		
	整備予定	WiFi	多言語	キャッシュレス	洋式トイレ	その他（ ）		
⑪ 現在の文化財 の状況	公開活用の状況							
	公開活用に供される文化財の状態							

⑫ 補助事業の 概要	事業名称					
	事業期間(全体)	交付決定日以降	～	令和	年	月 日
	事業期間(本年度)	交付決定日以降	～	令和	年	月 日
	経費(全体)			補助金の額(全体)		
	経費(本年度)			補助金の額(本年度)		
	事業内容					
⑬ 事業により期 待される効果						
⑭ 事業後の 活用方法	常時公開	臨時公開	その他活用方法			
⑮ 補助金の額の 調整要件 (該当するもの を選択)	当該事業が、文化財保存活用大綱、文化財保存 活用地域計画、歴史文化基本構想又は歴史的風 致維持向上計画を策定している地方公共団体の 域内において実施される			策定している大綱等名		0%
	補助事業者が地方公共団体の場合に財政力指 数が0.5以下である又は補助事業者が民間団体の 場合に事業規模指数が0.1以上である			財政力指数 又は 事業規模指数		0%
	補助事業者に観光庁に登録された日本版DMOが 参加している			参加している日本版DMO名		0%
	当該年度に、他の国際観光旅客税を充当する事 業と連携して実施することを計画している			連携予定の事業名		0%
	文化観光推進法の認定を受けた拠点計画又は地 域計画に基づく事業又は当該事業と連携して実 施することを計画している。			認定されている事業名等		0%
	補助率(自動計算)					50%

⑩ その他（観光 客増加への取 り組み等）	
--	--

観光拠点整備計画(文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業)

① 補助事業者名	〇〇寺				② 事業区分	国宝・重文 (美術工芸品) その他 ()	美観向上整備事業 鑑賞環境基本整備事業 情報発信事業
③ 文化財名称	〇〇像				④ 指定等 年月日	明・大・昭・平・令 〇 年 〇 月 〇 日	
⑤ 所在地	都道府県	〇〇県	市区町村	〇〇市	⑥ 保存活 用計画	策定済(平成29年3月)／未策定	
⑦ 観光振興事業 指定市区町村 等の現況	〇	〇				市への外国人観光客入れ込み数が2万人を超えている。	
⑧ 近隣施設との 連携(ルート設 定等)	外国人観光客が多い〇〇城や〇〇寺を含む〇〇周遊ルートを設定しており、〇〇駅の観光案内所で〇〇周遊ルートマップを配布するとともに、ルート上に案内看板を設け、当該文化財にも外国人観光客が訪問するよう誘導している。 また、市が主催する〇〇事業と連携し、文化イベントの会場として利用するとともに、修復現場の公開等により、来訪者の理解度や満足度の向上にも結び付ける予定としている。						
⑨ 外国人観光客 入れ込み数	指標	施設への外国人観光客入れ込み数					
※日本人観光客の入れ込み数等、事業効果を補足的に計測できる指標についても設定の上、測定すること。	目標値	年度 (原則:事業終了の翌年度)	人	現状値	年度	人	
	目標値の 設定根拠	平成〇年度から〇年度にかけて、外国人観光客が各年〇〇人ほど増加しており(平均伸び率〇%)、⑬に記載した事業効果により外国人観光客のさらなる集客に努めることで、令和〇年度の外国人観光客入れ込み数に平均伸び率〇%+5%をかけた、〇〇人の外国人観光客入れ込み数を目標とする。					
	目標値の 測定方法	外国語施設案内の持ち帰り数を計測する。					
	市区町村 (令和元年度)	宿泊者数 5,000 人	入れ込み数 20,000 人	施設の 入れ込み 数	平成28 2,000 人	令和元 3,000 人	施設の入 れ込み数 の伸び率
⑩ 受け入れ環境 整備状況	整備済み	WiFi	多言語	キャッシュレス	洋式トイレ	その他()	
	整備予定	WiFi	多言語	キャッシュレス	洋式トイレ	その他()	
⑪ 現在の文化財 の状況	公開活用状況 観光客の多い春(3～5月)と秋(9～11月)の年2回、特別公開を行っている。公開時には〇〇市や近隣の商店街とも連携し、観光客の呼び込みを行っているほか、令和元年度には夜間の特別拝観を開催。 公開活用に供される文化財の状態 概ね良好な状態であるが、表面に埃が付着するとともに、各所に徴が確認されており、本来の美観が損なわれている状況にある。						

A 都道府県名

〇〇県

⑫ 補助事業の概要	事業名称	〇〇〇像美観向上・鑑賞環境基本整備事業		
	事業期間(全体)	交付決定日以降	～	令和4年3月31日
	事業期間(本年度)	交付決定日以降	～	令和4年3月31日
	経費(全体)	〇〇千円	補助金の額(全体)	〇〇千円
	経費(本年度)	〇〇千円	補助金の額(本年度)	〇〇千円
	事業内容	表面に付着した埃等のよごれのクリーニングを実施。また、あわせて解説案内板を更新・整備する。		
⑬ 事業により期待される効果	※磨き上げ事業により、当該文化財が磨き上げられた結果、外国人観光客の増加にどのように寄与するのか、また、当該文化財の磨き上げが図られたのちにはどのような方法・手段で活用して外国人観光客の誘致につなげるのか、現在どのようなインバウンド対策を実施しているのか等、(予定も含めて)具体的に御記入ください。 〇〇寺がある〇〇市は、平成〇年度に「〇〇」として日本遺産に認定され、その主要な構成文化財として当該文化財が位置付けられている。〇〇寺ではすでに洋式トイレを整備したり、市と連携して多言語対応のHPを取りいれたりするなど、インバウンド対応について進めているところであり、外国人観光客数は、平成〇年の〇〇人に対し、令和〇年は〇〇人となるなど、着実にその数を増やしつつある。 このような中、経年劣化により表面に埃が付着するとともに、各所に微が確認されている〇〇像について、当該磨き上げ事業による美観向上を図ることで、文化財のもつ本来の美しさを回復でき、建立当時の雄大な姿を外国人を始めとした観光客に御覧いただくことが可能となると考える。 美観向上がなされた上は、地域団体との連携による〇〇の開催を予定しており、その中で当該文化財の観光ツアーを開催したり、〇〇のイベント会場として活用したりするとともに、市と協力した多言語パンフレットの作成やSNSにより発信等によって、磨き上げられた当該文化財の積極的な広報の実施による相乗効果により、多くの外国人観光客の誘致に寄与できるものと考えている。 なお、当該文化財は、前述のとおり平成〇年度から令和〇年度にかけて、外国人観光客が各年〇〇人ほど増加しており(平均伸び率〇%)、前述の事業効果を踏まえ、外国人観光客のさらなる集客に努めることで、令和〇年度の外国人観光客入れ込み数に平均伸び率〇%+5%をかけた、〇〇人の外国人観光客入れ込み数を目標とし、目標達成に向け、取り組みたい。			
⑭ 事業後の活用方法	常時公開	臨時公開	その他活用方法	
	○			
⑮ 補助金の額の調整要件 (該当するものを選択)	当該事業が、文化財保存活用大綱、文化財保存活用地域計画、歴史文化基本構想又は歴史的風致維持向上計画を策定している地方公共団体の域内において実施される		策定している大綱等名	
			〇〇市文化財保存活用地域計画	
	補助事業者が地方公共団体の場合に財政力指数が0.5以下である又は補助事業者が民間団体の場合に事業規模指数が0.1以上である		財政力指数 又は 事業規模指数	0.4
	補助事業者が観光庁に登録された日本版DMOが参加している		参加している日本版DMO名	
	当該年度に、他の国際観光旅客税を充当する事業と連携して実施することを計画している		連携予定の事業名	
	文化観光推進法の認定を受けた拠点計画又は地域計画に基づく事業又は当該事業と連携して実施することを計画している。		認定されている事業名等	
	補助率(自動計算)			
⑯ その他(観光客増加への取り組み等)	市の総合計画において、令和〇年度までに外国人観光客を〇〇人に増加させることを目標にしており、市を上げて〇〇に取り組んでいる。 また、毎月〇日には、〇〇等にイベントを開催している。			

観光拠点整備計画の記載について

①	補助事業者名を記載してください。
②	指定等の区分、事業内容の区分を選択してください。
③	磨き上げを行う文化財の指定等名称を記載してください。
④	指定等文化財の指定等年月日（新規指定時のみ）を記載してください。
⑤	指定等文化財の所在地（市区町村まで）を記載してください。
⑥	指定等文化財の保存活用計画の策定の有無(文化庁が受理又は認定した計画とする。)、策定している場合は、策定年月日（認定している場合は認定年月日）を記載してください。
⑦	外国人観光客が多く訪れる市区町村としてどれに該当するか選択してください。 なお、選択肢になくても継続事業、外国人観光客が多く来ている市区町村、施設等であれば、その他に理由を附してください。いずれにも該当しない場合には、申請ができません。
⑧	近隣の外国人観光客が多く訪れる施設（文化財以外でも可。以下「近隣施設」という。）及び近隣施設よりどのように当該施設（※申請文化財に係る（を含む）一連の建造物、所蔵・公開施設や敷地・区域。以下、同じ。）に外国人観光客が訪問するように仕向けているのか（予定を含む）を記載してください。何も措置がない場合は申請できません。 また、各種イベントの開催予定等をはじめとした、補助事業者又は地方公共団体、近隣の文化財が主催するソフト事業との連携の予定等についても、記載してください。
⑨	1. 指標：外国人観光客を測定するための範囲（市区町村、保存地区、施設等）、行動（入れ込み数、宿泊者数等）を記載してください。 なお、日本人観光客の入れ込み数等、事業効果を補足的に計測する指標についても設定の上、測定してください。（本整備計画への記載は不要です。） 2. 目標値：設定した指標について、磨き上げ事業が終了した翌年度の指標で示した目標値を記載してください。設定していない場合は申請できません。 3. 現状値：設定した指標について、現状の最新数値を御記入ください。 4. 目標値の設定根拠：目標値を設定した根拠について、御記入してください。 5. 目標値の測定方法：目標値で掲げた人数の取り方を具体的に記載してください。 6. 市区町村：事業実施年度の前々年度の当該市区町村の外国人観光客宿泊者数及び入れ込み数を記載して下さい。どちらの数値も把握していない場合には、空欄で結構です。数値は事業費の上限額に影響します。 7. 施設の入れ込み数：事業実施年度の前々年度の外国人観光客の当該施設への入れ込み数（推計でも可。）を記載してください。把握していない場合は、事業費の上限額の嵩上げはありません。あわせて、5年度前についても記載してください（詳しくは8.を参照）。 8. 施設の入れ込み数の伸び率：当該施設の事業実施年度の5年度前から前々年度までの入れ込み数の伸び率が150%以上の場合は、事業費の上限額が1ランク上がります。
⑩	外国人観光客のための受け入れ環境整備について、整備済み又は整備予定別に該当するものを選択してください。いずれにも該当しない場合には、申請ができません。
⑪	現在の公開状況と公開を行っている部位の状況を記載してください。
⑫	今回申請する補助事業の概要を記載してください。
⑬	磨き上げ事業を実施することによる活用の効果を記載してください。 当該施設のみによる説明が難しい場合は、近隣施設等を含め、事業を実施することにより期待される効果を記載ください。
⑭	磨き上げ事業後の活用方法を記載してください。
⑮	補助金の額の調整要件に該当するものを選択してください。
⑯	上記以外で観光客増加への取り組み等を行っている場合には記載してください。

※ 目標値に対する実績を磨き上げ事業終了後の翌年度末に提出していただきます（実績が出ていない月については見込みで算出）。その際、目標値に達成していない場合は、原因の分析と達成するための改善策を提出・実行していただきます。